

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

ホソカワミクロン株式会社（証券コード:6277）

【変更】

長期発行体格付 **BBB** → **BBB+**
格付の見通し **ポジティブ** → **安定的**

■格付事由

- (1) 粉体処理機器の世界最大手。粉体関連事業では粉砕・分級・造粒などあらゆるプロセスで使用される機器を手掛ける。多様な顧客ニーズに応える技術開発力やグローバルな対応力を背景に、強固な事業基盤を構築している。また単層から多層のプラスチック高機能フィルム製造装置を手掛けるプラスチック薄膜関連事業も展開する。18/9期売上構成比は粉体関連事業76%、プラスチック薄膜関連事業24%である。
- (2) 粉体の微細化やプラスチックフィルムの高機能化など顧客ニーズが多様化・高度化する中において、卓越した技術力による製品開発を進めてきた。これらの取り組みが各事業での新規需要取り込みや既存の取引関係の深耕化につながっており、高水準の営業利益を継続的に生み出せる収益体質への転換が進んだ。外部環境の不透明感が増しているが、広範な顧客基盤などを考慮すれば、当面は高まった収益力を維持出来る公算が大きい。財務構成は良好であり、今後はその健全性が更に向上すると考えている。以上より格付を1ノッチ引き上げ、見通しを安定的とした。
- (3) 19/9期営業利益は56億円の計画であり、過去最高益となった18/9期65億円に次ぐ水準となる見通し。当面は売上高の堅調な推移が見込まれ、高水準の営業利益が継続する可能性が高い。粉体関連事業では車載機器関連の電子材料など今後需要拡大が見込まれる分野も多く、中期的にも業績拡大が見込まれる。プラスチック薄膜関連事業の成長は足元で鈍化しつつある。ただ北米を中心にゴミ袋など消耗品向けの少層フィルムの需要は底堅い上、医薬品や食品向けなどで高機能多層フィルムの用途拡大が進んでおり、引き続き安定した業績推移が想定される。
- (4) 19/9期第2四半期末自己資本比率は61.6%（前期末59.8%）であるなど、財務諸比率は良好な水準にある。また手元流動性は潤沢にあり、10/9期末以降長期にわたりネット・キャッシュ・ポジションが維持されている。大阪工場の建て替えが今後本格化する見込みであるが、投資額はおおむね営業キャッシュフローの範囲内と見られ、財務内容の改善が進むと想定される。

（担当）里川 武・外窪 祐作

■格付対象

発行体：ホソカワミクロン株式会社

【変更】

| 対象 | 格付 | 見通し |
|---------|------|-----|
| 長期発行体格付 | BBB+ | 安定的 |

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2019年7月12日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：里川 武
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「機械」(2011年12月7日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) ホソカワミクロン株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル